

第2類医薬品

解熱鎮痛薬（イソプロピルアンチピリン・イブプロフェン配合）



頭痛・発熱・生理痛に

サリドンWiの特徴

- よく効く解熱鎮痛成分イソプロピルアンチピリン（IPA）とイブプロフェン（IB）のW（ダブル）効果で、今ある痛みと痛みのもとに速く効きます。
- 1回1錠だけの服用で優れた効果を発揮します。
- 眠くなる成分を配合していません。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないで下さい

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないで下さい

4. 長期連用しないで下さい



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- * (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (8) 次の病気にかかったことがある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄だん（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
腎 障 害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさを、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつばりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

3. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい

便秘、下痢

効 能・効 果

- 頭痛・月経痛（生理痛）・歯痛・抜歯後の疼痛・咽頭痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・ねんざ痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用 法・用 量

次の量を、なるべく空腹時をさけて水又はお湯で服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	1錠	2回まで （服用間隔は6時間以上おいて下さい）
15歳未満	服用しないで下さい	

＜用法・用量に関連する注意＞

（1）用法・用量を厳守して下さい。

（2）錠剤の取り出し方

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。
（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



成 分・分 量

本剤は、白色の錠剤で、1錠中に次の成分を含有します。

成 分	含有量	働 き
イソプロピルアンチピリン （ピリン系）	150mg	痛み・熱の伝わりを抑えます。
イブプロフェン	50mg	痛み・熱のもと（原因物質の発生）を抑えます。
無水カフェイン	50mg	鎮痛成分の働きを助けます。

添加物：クロスCMC-Na、ヒプロメロース、セルロース、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、タルク、乳糖水和物

保管および取扱い上の注意

- （1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- （2）小児の手の届かない所に保管して下さい。
- （3）他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり、品質が変わります。）
- （4）外箱に表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。



本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室
〒103-8541 東京都中央区日本橋小網町1-8
電 話 03 (6667) 3232
受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

ホームページ <http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>

®登録商標



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
東京都中央区日本橋小網町1-8